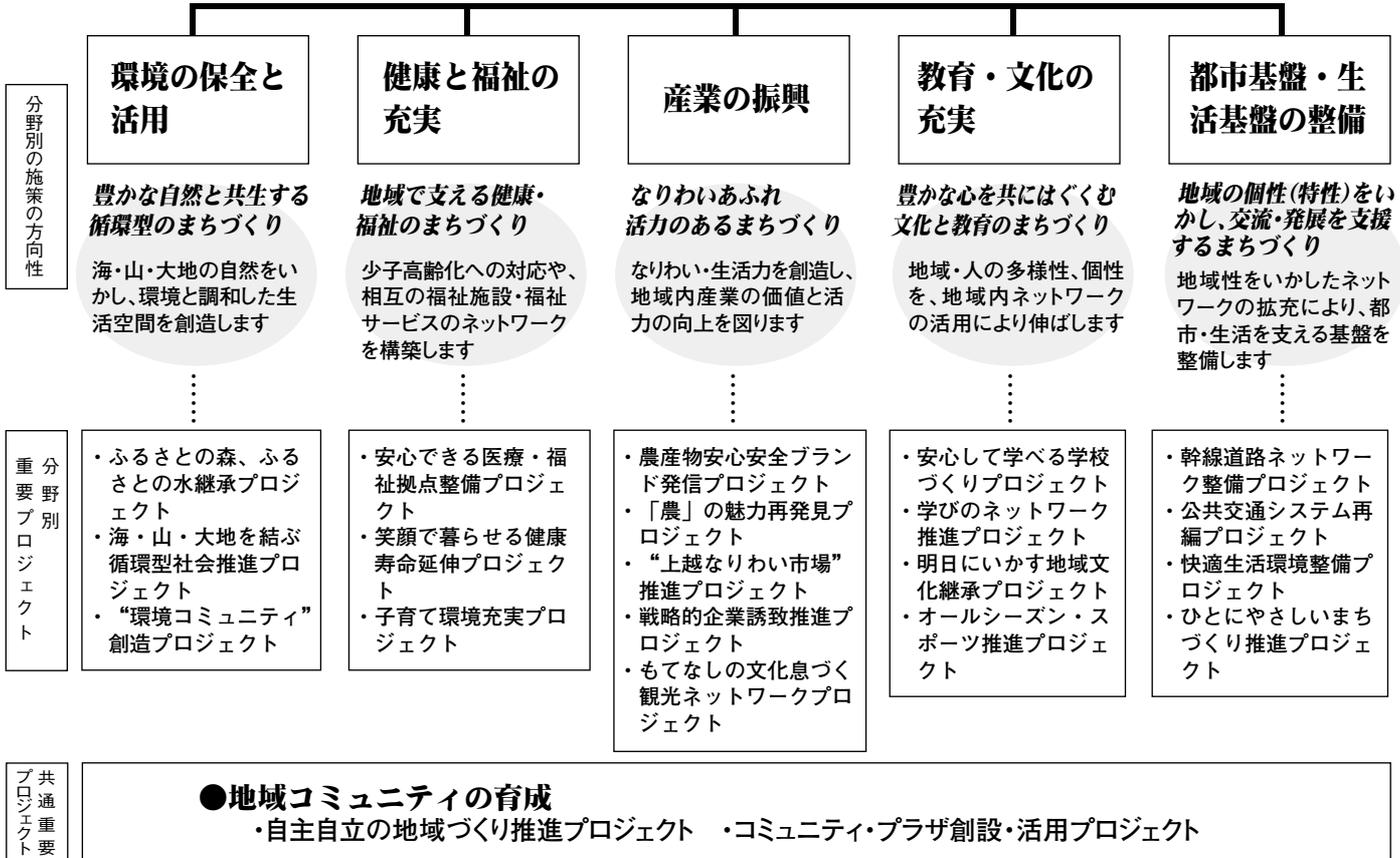


協議進行中 新しいまちづくりの施策推進イメージ(案)

【施策の体系と重要プロジェクト】



新しい行財政スタイルの創造に向けて 「新市における行財政運営指針」の素案が示される

今回の合併の効果を高め、新市において市民が新たな行財政運営によるメリットを享受できるよう、ランドデザインと合わせて、新市の行財政運営の基本理念、原則、重点課題などを示す指針を策定中ですが、この素案が第3回の準備会に示されました。

この指針では、住民の皆さんの関心の高い「支所の設置の在り方」や、コミュニティを中心とした「市民との協調と連携を通じた行政運営」などについて基本的な方向をお示しする予定です。なお、この指針は第4回の準備会で協議されることになっています。

* 内容は指針の概略です

【基本理念】

新市では、地域が自主的な判断と責任に基づいて自主自立のまちづくりに取り組んでいくことを目指します。これは、「地方分権」の主旨に沿って、「自己決定、自己責任、自己負担」により住民自らが地域に一定の責任を負う仕組みづくりでもあります。

14市町村は、ランドデザインに描かれた夢と希望を実現するとともに、多様化・高度化する行政ニーズに対応していくための新しい行財政の仕組みやスタイルをつくり出していきます。

【原則】

- ・行政の能力・機能の向上と財政基盤の確立
- ・行政の効率化、行政コストの引下げ
- ・市民の自治意識の醸成
- ・透明性の確保
- ・行政資源の有効活用

【重点課題】

- ・支所の設置によるネットワーク型行政体制の整備
- ・市民との協調と連携を通じた行政運営
- ・持続可能な財政運営
- ・市民に開かれた、効率的、機動的な行財政運営の実現
- ・自治基本条例の制定に向けた検討